

日局試験用

## 液状チオグリコール酸培地

「ダイゴ」日局試験用

Fluid Thioglycollate Medium  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 393-01621 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

L-シスチン	0.5g
カンテン	0.75g
塩化ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	5.0g
酵母エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	15.0g
チオグリコール酸ナトリウム	0.5g
レザズリン	0.001g

滅菌後の pH 6.9 ~ 7.3

## 調製法

本品29.3gを精製水1Lに加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後バリデートされた方法で滅菌した後、2~25℃で保存する。

## 用途

- 日局16 無菌試験法  
日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276  
*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275  
*Clostridium sporogenes* NBRC 14293

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## 変法チオグリコール酸培地

「ダイゴ」日局試験用

Alternative Thioglycollate Medium  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 390-01631 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

L-シスチン	0.5g
塩化ナトリウム	2.5g
ブドウ糖	5.0g
酵母エキス	5.0g
カゼイン製ペプトン	15.0g
チオグリコール酸ナトリウム	0.5g

滅菌後の pH 6.9 ~ 7.3

## 調製法

本品28.5gを精製水1Lに加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後バリデートされた方法で滅菌した後、2~25℃で保存する。

## 用途

- 日局16 無菌試験法

## 試験菌株

*Clostridium sporogenes* NBRC 14293

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

## 日局試験用

ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト  
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用Casein soya bean digest agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 394-01771 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	15.0g
ダイズ製ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g
滅菌後の pH	7.1 ~ 7.5

## 調製法

本品40gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高压蒸気滅菌する。

## 用途

- 日局16 微生物限度試験法
- 日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
- 日局16 保存効力試験法
- 日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276  
*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275  
*Bacillus subtilis* NBRC 3134  
*Candida albicans* NBRC 1594  
*Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455  
*Escherichia coli* NBRC 3972

## 使用期限

製造後 2年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

## 日局試験用

ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト培地  
「ダイゴ」日局試験用Casein soya bean digest broth  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 397-01761 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素二カリウム	2.5g
ブドウ糖	2.3g
滅菌後の pH	7.1 ~ 7.5

## 調製法

本品29.8gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高压蒸気滅菌する。

## 用途

- 日局16 無菌試験法
- 日局16 微生物限度試験法
- 日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
- 日局16 培地充てん試験 (プロセスシミュレーション)
- 日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276  
*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275  
*Bacillus subtilis* NBRC 3134  
*Candida albicans* NBRC 1594  
*Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455  
*Escherichia coli* NBRC 3972

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## サブロー・ブドウ糖カンテン培地

「ダイゴ」日局試験用

Sabouraud-dextrose agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 392-01831 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ブドウ糖	40.0g
ペプトン (肉製及びカゼイン製)	10.0g
カンテン	15.0g
滅菌後の pH	5.4 ~ 5.8

## 調製法

本品65gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

日局16 微生物限度試験法  
日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法  
日局16 保存効力試験法  
日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Candida albicans* NBRC 1594  
*Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## サブロー・ブドウ糖液体培地

「ダイゴ」日局試験用

Sabouraud-dextrose broth  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 398-01811 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ペプトン (肉製及びカゼイン製)	10.0g
ブドウ糖	20.0g
滅菌後の pH	5.4 ~ 5.8

## 調製法

本品30gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

日局16 微生物限度試験法  
日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法

## 試験菌株

*Candida albicans* NBRC 1594

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

## 日局試験用

## ポテト・デキストロースカンテン培地

## 「ダイゴ」日局試験用

Potato dextrose agar  
 》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 399-01841 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ポテトエキス	4.0g
ブドウ糖	20.0g
カンテン	15.0g
滅菌後の pH	5.4 ~ 5.8

## 調製法

本品39gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

- 日局16 微生物限度試験法
- 日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
- 日局16 保存効力試験法
- 日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Candida albicans* NBRC 1594  
*Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455

## 使用期限

製造後 2年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

## 日局試験用

## G P 寒天培地

## 「ダイゴ」日局試験用

Glucose-Peptone Agar Medium  
 》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 394-01031 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ブドウ糖	20.0g
酵母エキス	2.0g
硫酸マグネシウム (1 水塩)	0.28g
ペプトン	5.0g
リン酸二水素カリウム	1.0g
カンテン	15.0g
滅菌後の pH	5.6 ~ 5.8

## 調製法

本品43.3gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後121℃で15~20分間高圧蒸気滅菌する。使用直前にベンジルペニシリンカリウム0.10gとテトラサイクリン0.10gを滅菌溶液として加える。ベンジルペニシリンカリウムとテトラサイクリンの代わりに培地 1 L 当たりクロラムフェニコール50mgを加えてもよい。

## 用途

- 日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
- 日局16 保存効力試験法
- 日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Candida albicans* NBRC 1594

## 使用期限

製造後 2年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、2~10℃に保存すること。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## 乳糖ブイヨン

「ダイゴ」日局試験用

Fluid Lactose Medium  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 391-01041 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

肉エキス	3.0g
ゼラチン製ペプトン	5.0g
乳糖一水和物	5.0g
滅菌後の pH	6.7 ~ 7.1

## 調製法

本品13gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。滅菌後はできるだけ速やかに冷却する。

## 用途

日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Escherichia coli* NBRC 3972  
*Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Abony  
NBRC 100797

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## モーゼル腸内細菌増菌ブイヨン培地

「ダイゴ」日局試験用

Enterobacteria enrichment broth-Mosserl  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 395-01701 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ゼラチン製ペプトン	10.0g
ブドウ糖	4.5g
乾燥ウシ胆汁	20.0g
リン酸二水素カリウム	2.0g
リン酸水素二ナトリウム	6.4g
ブリリアントグリーン	15mg
加熱後の pH	7.0 ~ 7.4

## 調製法

本品42.9gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、100℃で30分間加熱し、直ちに冷却する。

## 用途

日局16 微生物限度試験法  
日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Escherichia coli* NBRC 3972  
*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275  
*Staphylococcus aureus* NBRC 13276  
*Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Abony  
NBRC 100797

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

バイオレット・レッド・胆汁酸・ブドウ糖  
カンテン培地「ダイゴ」日局試験用

Violet red bile glucose agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 398-01791 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

酵母エキス	3.0g
ゼラチン製ペプトン	7.0g
胆汁酸塩	1.5g
塩化ナトリウム	5.0g
ブドウ糖一水和物	10.0g
カンテン	15.0g
ニュートラルレッド	30mg
クリスタルバイオレット	2mg
加熱後の pH	7.2 ~ 7.6

## 調製法

本品41.5gに精製水 1 L を加えよく振り混ぜたのち、煮沸するまで加熱する。オートクレーブで加熱してはならない。

## 用途

- 日局16 微生物限度試験法  
日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275  
*Escherichia coli* NBRC 3972  
*Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Abony  
NBRC 100797

## 使用期限

製造後 2年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

マッコンキー液体培地  
「ダイゴ」日局試験用

MacConkey broth  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 391-01801 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ゼラチン製ペプトン	20.0g
ラクトース一水和物	10.0g
乾燥ウシ胆汁	5.0g
プロモクレゾールパープル	10mg
滅菌後の pH	7.1 ~ 7.5

## 調製法

本品35gに精製水 1 L を加えてよく振り混ぜたのち、容器に分注する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

- 日局16 微生物限度試験法

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276  
*Escherichia coli* NBRC 3972

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## マッコンキーカンテン培地

「ダイゴ」日局試験用

MacConkey agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 390-01751 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ゼラチン製ペプトン	17.0g
カゼイン製ペプトン	1.5g
肉製ペプトン	1.5g
乳糖一水和物	10.0g
塩化ナトリウム	5.0g
胆汁酸塩	1.5g
カンテン	13.5g
ニュートラルレッド	30mg
クリスタルバイオレット	1mg
滅菌後の pH	6.9 ~ 7.3

## 調製法

本品50gに精製水 1 L を加えてよく振り混ぜる。絶えず振り混ぜながら 1 分間煮沸させてから、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

日局16 微生物限度試験法

## 試験菌株

*Escherichia coli* NBRC 3972

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011) .
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012) .

日局試験用

## ラパポート・バシリアジス・サルモネラ

増菌液体培地「ダイゴ」日局試験用

Rappaport Vassiliadis Salmonella Enrichment  
Broth 》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 393-01741 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ダイズ製ペプトン	4.5g
塩化マグネシウム (無水)	13.6g
塩化ナトリウム	8.0g
リン酸水素二カリウム	0.4g
リン酸二水素カリウム	0.6g
マラカイトグリーン	36mg
滅菌後の pH	5.0 ~ 5.4

## 調製法

本品27.1gに精製水 1 L を加えて若干加温しながら溶かし、容器に分注後、115℃を超えない温度で、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

日局16 微生物限度試験法

## 試験菌株

*Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Abony  
NBRC 100797  
*Staphylococcus aureus* NBRC 13276

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011) .
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012) .

日局試験用

## XL D (キシロース・リジン・デオキシコール酸) カンテン培地「ダイゴ」日局試験用

Xylose, lysine, deoxycholate agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 396-01731 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

キシロース	3.5g
L-リジン	5.0g
乳糖一水和物	7.5g
白糖	7.5g
塩化ナトリウム	5.0g
酵母エキス	3.0g
フェノールレッド	80mg
デオキシコール酸ナトリウム	2.5g
チオ硫酸ナトリウム	6.8g
クエン酸鉄アンモニウム (III)	0.8g
カンテン	13.5g

煮沸後の pH 7.2 ~ 7.6

## 調製法

本品55.2gに精製水1Lを加えてよく振り混ぜたのち、煮沸するまで加熱し、50℃まで冷却してからシャーレに注ぎ込む。オートクレーブで加熱してはならない。

## 用途

日局16 微生物限度試験法  
日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Abony  
NBRC 100797

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## セトリミドカンテン培地 「ダイゴ」日局試験用

Cetrimide agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 399-01721 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ゼラチン製ペプトン	20.0g
塩化マグネシウム	1.4g
硫酸カリウム	10.0g
セトリミド	0.3g
カンテン	13.6g
(グリセリン)	10mL

滅菌後の pH 7.0 ~ 7.4

## 調製法

本品45.3gとグリセリン10.0mLを精製水1Lに加えて溶かす。振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

日局16 微生物限度試験法

## 試験菌株

*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275  
*Escherichia coli* NBRC 3972

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## マンニット・食塩カンテン培地

「ダイゴ」日局試験用

Mannitol salt agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 396-01851 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	5.0g
肉製ペプトン	5.0g
肉エキス	1.0g
D-マンニトール	10.0g
塩化ナトリウム	75.0g
フェノールレッド	25mg
カンテン	15.0g

滅菌後の pH 7.2 ~ 7.6

## 調製法

本品111gに精製水1Lを加えてよく振り混ぜる。振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

- 日局16 微生物限度試験法  
日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276  
*Escherichia coli* NBRC 3972

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## 強化クロストリジア培地

「ダイゴ」日局試験用

Reinforced medium for Clostridia  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 391-01781 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

牛肉エキス	10.0g
ペプトン	10.0g
酵母エキス	3.0g
溶性デンプン	1.0g
ブドウ糖	4.5g
システイン塩酸塩	0.5g
塩化ナトリウム	5.0g
酢酸ナトリウム	3.0g
カンテン	0.5g

滅菌後の pH 6.6 ~ 7.0

## 調製法

本品37.5gに精製水1Lを加え、絶えずかき混ぜながら煮沸するまで加熱して溶かす。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

- 日局16 微生物限度試験法  
日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法

## 試験菌株

*Clostridium sporogenes* NBRC 14293

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

**コロンビアカンテン培地**

「ダイゴ」日局試験用

Columbia agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 395-01821 (300g)

**組成 (精製水 1 L 当たり)**

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉浸出物のペプシン消化物	5.0g
心筋浸出物のパンクレアチン消化物	3.0g
酵母エキス	5.0g
トウモロコシデンプン	1.0g
塩化ナトリウム	5.0g
カンテン	15.0g

滅菌後の pH 7.1 ~ 7.5

**調製法**

本品44gに精製水1Lを加えてよく振り混ぜる。振り混ぜながら加熱して1分間煮沸する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

**用途**

日局16 微生物限度試験法

**試験菌株***Clostridium sporogenes* NBRC 14293**使用期限**

製造後 2年

**注意事項**

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

**参考文献**

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011) .
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012) .

日局試験用

**EMB寒天培地**

「ダイゴ」日局試験用

Eosin-Methylene Blue Agar Medium  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 395-01061 (300g)

**組成 (精製水 1 L 当たり)**

ゼラチン製ペプトン	10.0g
リン酸水素二カリウム	2.0g
乳糖一水和物	10.0g
カンテン	15.0g
エオシンY	0.40g
メチレンブルー	65mg

滅菌後の pH 6.9 ~ 7.3

**調製法**

本品37.5gを精製水1Lに加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

**用途**

日局16 生薬の微生物限度試験法

**試験菌株***Escherichia coli* NBRC 3972**使用期限**

製造後 3年

**注意事項**

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

**参考文献**

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011) .
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012) .

日局試験用

**セレナイト・シスチン基礎培地**

「ダイゴ」日局試験用

Selenite-Cystine Broth Base  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 392-01071 (300g)

**組成 (精製水 1 L 当たり)**

ゼラチン製ペプトン	5.0g
乳糖一水和物	4.0g
リン酸三ナトリウム十二水和物	10.0g
L-シスチン	10mg
(亜セレン酸ナトリウム)	4.0g)
溶解後の pH	6.8 ~ 7.2

**調製法**

本品19gと亜セレン酸ナトリウム4gを精製水1Lに加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解する。滅菌してはならない。

**用途**

日局16 生薬の微生物限度試験法

**試験菌株***Salmonella typhimurium* NBRC 12529**使用期限**

製造後 3年

**注意事項**

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

**参考文献**

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

**テトラチオネート培地**

「ダイゴ」日局試験用

Fluid Tetrathionate Medium  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 399-01081 (300g)

**組成 (精製水 1 L 当たり)**

カゼイン製ペプトン	2.5g
肉製ペプトン	2.5g
デオキシコール酸ナトリウム	1.0g
炭酸カルシウム	10.0g
チオ硫酸ナトリウム (五水和物)	30.0g

**調製法**

本品46gを精製水1Lに加えてよく振り混ぜたのち煮沸する。使用当日にヨウ素・ヨウ化カリウム溶液 (ヨウ素6gとヨウ化カリウム5g/20mL) と滅菌ブリリアントグリーン溶液 (1→1000)10mLを混和する。混和後は熱を加えてはならない。

**用途**

日局16 生薬の微生物限度試験法

**試験菌株***Salmonella typhimurium* NBRC 12529**使用期限**

製造後 3年

**注意事項**

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

**参考文献**

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## ブリリアントグリーン寒天培地

「ダイゴ」日局試験用

Brilliant Green Agar Medium  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 399-01101 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

ペプトン (肉製及びカゼイン製) .....	10.0g
酵母エキス .....	3.0g
塩化ナトリウム .....	5.0g
乳糖一水和物 .....	10.0g
白糖 .....	10.0g
フェノールレッド .....	80mg
ブリリアントグリーン .....	12.5mg
カンテン .....	20.0g

滅菌後の pH 6.7 ~ 7.1

## 調製法

本品58gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、1分間煮沸する。使用直前に確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。約50℃に冷却後ペトリ皿に分注する。

## 用途

日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Salmonella typhimurium* NBRC 12529

## 使用期限

製造後 2年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011) .
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012) .

日局試験用

## 亜硫酸ビスマス寒天培地

「ダイゴ」日局試験用

Bismuth Sulfite Agar  
》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 393-01121 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

肉エキス .....	5.0g
カゼイン製ペプトン .....	5.0g
肉製ペプトン .....	5.0g
ブドウ糖 .....	5.0g
リン酸三ナトリウム十二水和物 .....	4.0g
硫酸鉄 (II) 七水和物 .....	0.3g
亜硫酸ビスマス・インジケータ .....	8.0g
ブリリアントグリーン .....	25mg
カンテン .....	20.0g

煮沸後の pH 7.4 ~ 7.8

## 調製法

本品52.3gを精製水 1 L に加えてよく振り混ぜたのち、煮沸溶解する。高圧蒸気滅菌をしてはならない。過剰な加熱は避けること。約50℃に冷却後ペトリ皿に分注する。

## 用途

日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Salmonella typhimurium* NBRC 12529

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011) .
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012) .

日局試験用

## TSI 寒天培地

### 「ダイゴ」日局試験用

Triple Sugar Iron Agar  
 》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 390-01131 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉製ペプトン	10.0g
乳糖一水和物	10.0g
白糖	10.0g
ブドウ糖	1.0g
硫酸アンモニウム鉄 (II) 六水和物	0.2g
塩化ナトリウム	5.0g
チオ硫酸ナトリウム五水和物	0.2g
フェノールレッド	25mg
カンテン	13.0g

滅菌後の pH 7.1 ~ 7.5

## 調製法

本品59.4gを精製水1Lに加えてよく振り混ぜたのち、煮沸溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。斜面カンテン培地として使用する。

## 用途

日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Salmonella typhimurium* NBRC 12529

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、冷暗所に保存すること。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## フォーゲル・ジョンソン寒天培地

### 「ダイゴ」日局試験用

Vogel-Johnson Agar Medium  
 》 DAIGO 《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】 395-01181 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
酵母エキス	5.0g
D-マンニトール	10.0g
リン酸水素二カリウム	5.0g
塩化リチウム	5.0g
グリシン	10.0g
フェノールレッド	25mg
カンテン	16.0g

滅菌後の pH 7.0 ~ 7.4

## 調製法

本品61gを精製水1Lに加えて溶かす。時々激しく振り混ぜながら加熱し、1分間煮沸した後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。40~50℃に冷却後、滅菌亜テルル酸カリウム溶液 (1→100) 20mLを加えて混和する。

## 用途

日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、冷暗所に保存すること。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

日局試験用

## ベアード・パーカー寒天培地 「ダイゴ」日局試験用

Baird- Parker Agar  
》DAIGO《 for JP general test

試験成績書添付

【和光コード・包装】392-01191 (300g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	10.0g
肉エキス	5.0g
酵母エキス	1.0g
塩化リチウム	5.0g
グリシン	12.0g
焦性ブドウ酸ナトリウム	10.0g
カンテン	20.0g

滅菌後のpH 6.6 ~ 7.0

## 調製法

本品63gを精製水950mLに加えて溶かす。時々激しく振り混ぜながら加熱し、1分間煮沸溶解する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。40~50℃に冷却後、滅菌亜テルル酸カリウム溶液(1→100)10mLと卵黄乳濁液(卵黄約30%と生理食塩水約70%の混和調製液)50mLを加えて混和する。

## 用途

日局16 生薬の微生物限度試験法

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓し、冷暗所に保存すること。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店(2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版(2012)。

日局試験用

## 日局充てん試験対応 ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト培地 「ダイゴ」

Fluid Soybean-Casein-Digest Medium  
》DAIGO《 for JP media fill test

試験成績書添付

【和光コード・包装】395-01321 (600g)

## 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	17.0g
ダイズ製ペプトン	3.0g
塩化ナトリウム	5.0g
リン酸水素二カリウム	2.5g
ブドウ糖	2.5g

滅菌後のpH 7.1 ~ 7.5

## 調製法

本品30gを精製水1Lに加えてよく振り混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

## 用途

日局16 培地充てん試験(プロセスシミュレーション)

## 試験菌株

*Staphylococcus aureus* NBRC 13276  
*Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275  
*Bacillus subtilis* NBRC 3134  
*Candida albicans* NBRC 1594  
*Aspergillus brasiliensis* NBRC 9455

## 使用期限

製造後 3年

## 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

## 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店(2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版(2012)。

## 日局試験用

## ペプトン食塩緩衝液

### pH7.0「ダイゴ」日局試験用

Buffered sodium chloride-peptone solution  
pH 7.0 》 DAIGO 《 for JP general test

**試験成績書添付**

【和光コード・包装】 392-01711 (300g)

#### 組成 (精製水 1 L 当たり)

リン酸二水素カリウム	3.6g
リン酸水素二ナトリウム (無水)	5.7g
塩化ナトリウム	4.3g
ペプトン	1.0g
滅菌後の pH	6.9 ~ 7.1

#### 調製法

本品 14.6g に精製水 1 L を加えてよく振り混ぜたのち、容器に分注する。確認されたサイクルで高圧蒸気滅菌する。

#### 用途

- 日局16 微生物限度試験法
- 日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法
- 日局16 生薬の微生物限度試験法

#### 使用期限

製造後 3年

#### 注意事項

本品は吸湿性が強いので、固く密栓すること。室温保存。

#### 参考文献

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。
- 2) 第十六改正 図説 日本薬局方微生物試験法の手引き 文教出版 (2012)。

## 医薬品・化粧品検査

防腐剤不活化・検体前処理用

## LP希釈液「ダイゴ」

DILUENT with LECITHIN & POLYSORBATE 80  
》 DAIGO 《

【和光コード・包装】 397-00281 (30g×5瓶)

#### 概要

本品は、米国 C T F A (Cosmetic, Toiletries and Fragrances Association) で使用されているもので、防腐剤を含有する医薬品・化粧品の微生物汚染試験 (生菌数測定) に際し、これら検体を均一な乳化液とすること、又前処理操作時の検体中の細菌及び真菌の死滅を防止、製剤中の防腐剤を不活化することを目的とした希釈液である。

#### 組成 (精製水 1 L 当たり)

カゼイン製ペプトン	1.0g
レシチン	0.7g
ポリソルベート80	20.0g
精製水	8.3g
滅菌後の pH	7.0 ~ 7.4

#### 調製法

使用時本品を適当に加温して全量 (30g) を精製水 1 L に加えてよくかき混ぜたのち、加温溶解し、容器に分注後、121℃で15~20分間高圧蒸気滅菌する。

#### 用途

- 日局16 無菌医薬品製造区域の微生物評価試験法

#### 注意事項

本品は冷暗所に保存すること。

#### 参考文献

- 1) 石関忠一：日本化粧品技術者連合会誌7 (1), 1, 1971.  
化粧品の微生物汚染とその検査法について。
- 2) 岩原繁雄：医薬品研究3 (4), 444, 1972.  
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法 (第1報)。
- 3) 石関忠一：医薬品研究4 (2), 175, 1973.  
医薬品・化粧品の微生物汚染試験法 (第3報)。
- 4) 石関忠一他：衛生試験所報告第91号, 1973.  
防腐剤に関する研究、とくにポリソルベート80及びレシチンによる不活化作用について。
- 5) 第十六改正日本薬局方解説書、日本薬局方解説書編集委員会編、廣川書店 (2011)。